

## 祝 詞



## 先達と後人との架け橋を発条にして

(財)日本レスリング協会  
副会長 沼尻 直

栄えある創部50周年を迎えられご同慶の至りです。「物」もないあの昭和23年に情熱を奮って創部された有意の出立の光景は、同時代にレスリングを始めた私の脳裏にも、まざまざと思い起こされるものがあります。それから半世紀を経ていま余り溢れる「モノ」がある時代。その間にはさまざまなことがらが生じたことでありましょう。本日ここに原「出立」の先達と新「出立」の後人との架け橋で手を結ぶ佳節を迎えられ、大いなる祝意を表したいものであります。

かの明治大学の村田恒太郎さんが、当時、大阪の地で情熱を傾けてレスリングに取り組んでおられる様子は東京にも鳴り響いておりました。そのころ関西大学では大阪市立中学校出身者を中心にして創部の機運にあったそうですが、そこに、同中学校で教師としてレスリングを指導していた村田さんを関西大学レスリング部初代監督に迎えられ、一気に「関大レスリング、ここにあり」の土壌を形成されたことは語り種になっています。

爾来、関西大学レスリング部は、西日本学生レスリング連盟リーグ戦優勝回数27回という不滅の金字塔を打ち立ててこられました。その間、押立吉男さん、横山勝利さん、市口政光さんなどの国内外で活躍された日本有数の名選手を多数輩出され、現在のOB総数は250余名を数えて、そのOB組織の堅固であることも、つとに有名であります。また松井清さんや押立吉男さんをはじめ、会長や

理事長などとして、関西大学OB諸氏の多数が西日本における学生レスリングの発展に寄与されておられます。敬意を表するものであります。さらに松井清さんは全日本学生レスリング連盟会長、日本レスリング協会副会長を歴任され、また押立吉男さんも全日本学生レスリング連盟会長、日本レスリング協会現副会長を務められ、市口政光さんは日本協会指導者育成委員会委員長、同科学委員会委員長、同ナショナルチーム監督などとして指導力を発揮され、伴義孝さんは日本協会審判委員会委員長、国際レスリング連盟特級審判員、アジアレスリング連盟事務総長などとして国際的にも活躍されました。このように関西大学関係者は日本レスリング協会並びに日本レスリングの発展のために大いに寄与されておられます。ここに衷心より御礼を申し述べさせていただきます。

さてやはり半世紀にわたる営為はなにごとにも換えがたい生命線そのものであります。その実績の命脈は関西大学レスリング部関係者一人ひとりの骨髓に結晶して宿っているはずですが、しかしながらこの栄光に満ちた関西大学レスリング部もあの大学紛争を契機にして幾度も「部存続の危機」に見舞われたとも聞いております。だがその劣勢は必ずや「半世紀の英知」をもってすれば挽回できるはずですが。本日の創部50周年記念式典を契機に、名門関大レスリング部の復活と向後のご活躍を祈念いたしております。(平成9年11月24日)